

国 労 ち ば

安全な鉄道・公共交通を守ろう！

JRの安全と利便性の向上を求める2・16千葉県集会

2月16日、地本は千葉市文化センターにて「JRの安全と利便性の向上を求める2・16千葉県集会を開催した。開会あいさつで井村副委員長は「今日は33年前に紙切れ一枚で首を切られた特別な日だ」と述べた。

主催者を代表して樞尾委員長は「国鉄が分割民営化され線路が切り捨てられる中、文化的に生きていく権利が侵害されている。公共交通としての足を守る取り組みが重要。千葉



支社ではワソマン運転拡大が想定され、駅員が居ない無人駅も増えつつある。労働条件を守る取り組みは公共交通を守る取り組みと両輪だ。皆さんの意見や要望を集約してその声を背景に、この取り組みを進めていきたい」とあいさつした。



岩橋弁護士

千葉中央法律事務所 岩橋弁護士が「交通権の確立を目指して」というタイトルで、交通権とは何か。交通権確立へ世界の動きが報告、日本でも2006年に高齢者・障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律が制定されたこと述べ、地方の条例策定や格差運賃などの判例が報告

国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 樞尾 智
編集 安田 正浩
【電話】
JR 2830 FAX 2834
NTT 043(238)5963
FAX 043(238)5967

信頼と、
絆の証、
国労旗

歴史と概要が述べられ、最後に「交通権は国が政策により国民の移動を保障しよう求める権利で、認めさせるよう推し進めていくことが必要」と強調された。「利用者からの報告」では元吉・いすみ市議が報告した。「下段参照」加藤書記長からは「JR東日本の現状と国労の取り組み」として、公共交通機関であるJRに「交通政策基本法」の趣旨を守らせる事が重要。千葉地本は「地域公共交通対策委員会」で各線区の取り組み、障がい者団体と連携し取り組んできた。地域住民の足である「鉄道の再生」「公共交通のあり方」について、皆さんと議論し、各地区での集会や宣伝行動、利用者アンケート等も検討していきたく」と報告された。



一 議 栄市 吉み 元い

参加者の質問や発言で「障害者の生活と権利を守る千葉県連絡協議会」代表の天海正克氏が「JR千葉支社は私たちの要請を受け入れてくれなかった。国労の力を借り要望を伝えられた。最後に私が取り組んでいる裁判闘争へのご支援をお願いしたい」と訴えた。朝からの雨模様に関わらず130名もの人が結集した集会も安田副委員長の閉会あいさつで成功裡に終わった。



飯田代議員

組織拡大を意識しよう 国労東日本拡大委員会

2月8日、新橋交通ビルにて第37回国労東日本拡大委員会が開催された。

昨年確立した運動方針の中間総括と当面する闘争方針を確立した。青年部から4本の特別発言があり、千葉地本の飯田代議員は次のように発言をした。「千葉地本ではエルダー1組員が現役組合員を上回り現役の組合員比率が4割を切り、

視覚障がい者をはじめ視覚障がい者をはじめ視覚障がいの事故が多発。昨年12月、JR西日本の2両編成のワソマン運転の電車でベビーカーが線路に転落して2歳児が怪我をしている。2両で事故が起きるのだから5両・6両はもっと危険。誰でも障がい者になる可能性がある。障がい者が暮らしやすい社会は誰かが暮らしやすい社会だ。そういう社会を作りたい」と報告した。

2020 春闘

昨年のアンケート結果で、20春闘での要求額は、旅客職場では昨年より1万円アップの48912円、貨物職場では昨年より26000円アップの72000円、根拠はどちらも病気が、老後の備えが3割を超え、生活向上資金、赤字補填が続く。生活苦を打破するため賃上げを獲得するため職場から奮闘しよう。

合図

前回の合図 燈では香港の若者たちが進める民主化を求めた抗議行動に労働者や市民が一体となつて行動している事を紹介した。今の日本は数に物を言わせての閣議決定や村度、隠ぺい、桜を見る会など長期政権と独裁政治による腐敗が蔓延している。残念ながら「悪政は許さない」と声を挙げる勢力は極めて少ない。自分に降りかからないと無関心？アキラメ？



社員代表選挙勝利と組織拡大、労働条件改善と大幅賃上げ獲得へ 職場から運動を構築しよう！

拡大分会長会議

2月1日、地本会議室にて拡大分会長会議を開催した。

井村副委員長の開会あいさつの後、尾屋委員長が、先日開催された中央委員会の報告を交えた情勢報告を含めてあいさつした。

続いて、加藤書記長より、国労統一要求をはじめとした2020春闘への取組み、会社の代表でなく社員の代表を選出する社員代表選挙と労働条件改善・組織拡大への取組み、JRの利便性と安全を守る取組みを社会へ訴える2・16県民集会への全力動員を含めた地方交通対策委員会の取組みなど、今後の運動について提起がされた。

参加した分会からは、◆社員代表選挙は325名の職場で国労は11名、東労組は110名と組合未加入者が圧倒的多数だが、会社代表を選ばせない対策を取組む◆貨物職場は10仕事を23人予備5人で行いW泊解消の要求を行っている。会社は検

修作業効率化で貨車(コキ)の車両全体検査の延伸を上申◆エルダ+再雇用での組合差別がある◆JESSの一人勤務で社員が業務中倒れた。会社の対応と社員の安全確保が重要、JESSとの話し合いはどこまで踏み込んだ議論ができるのか◆設備事務の集約化で障がいをもつ青年を出向に、組合提案前にタブレット配信され既成事実化している組合軽視は許されない。

など発言が出され、職場の問題解決と春闘勝利へ精一杯取り組むことを確認し合った。

分会大会報告



2月14日、地本会議室にて第12回定期大会を開催し、分会の活性化へ毎月第2週の金曜日に集まる事を決定。

執行体制
執行委員長 佐藤良秋
執行副委員長 黒川晴久
書記 長 松本光男

銚子運輸区分会

1月25日、銚子市内にて第8回定期大会を開催し、新たな乗務員勤務制度をはじめ職場の問題を議論し、新役員体制を確立した。

執行体制
執行委員長 浪川昌佳
執行副委員長 長川口正己
宇野澤浩
書記 長 五十嵐定之

千葉運輸区分会

2月11日、地本会議室にて、2019年度定期大会を開催、ダイヤ改正の問題や区長が先走り暴走している社員代表選挙の問題などが議論された。

執行体制
執行委員長 鶴岡良男
執行副委員長 長名島孝志
書記 長 東平賢一

習志野運輸区分会

1月31日、習志野運輸区の談話室にて定期大会を開催し、新たな行路などダイヤ改正に伴う問題や社員代表選挙などが議論された。

終了後、分会旗開きを開催し、分会大会に参加出来なかった日勤の組合員も加わり盛り

佐倉運輸区分会



1月29日、佐倉市内において定期大会を開催した。

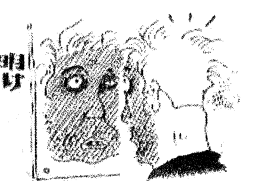
小川分会長の挨拶では突然4月に退職すると報告され、参加した皆さんはびっくりした。コロナウイルス対策

アスベスト健康被害・健康管理手帳取得の取組み⑤

4、主な病気の認定基準 ②

(問題点)
※レントゲン、CTなどアスベストによる症状を診れる医師が少ないのが実情。
※石綿による病気かどうかという検査を、医療機関がやらない場合がある。
※石綿が原因と分かって、診断が医学的に完全に確定していない場合がある。
例えば肺がんか中皮腫かどうかははっきりしないケース。※存命中なら主治医に相談し、検査をお願いする。
※亡くなった場合に解剖をお願いして原因を確かめる事がある。

◆出来れば存命中に職歴やアスベスト粉じん曝露歴についてしっかりまとめておく事が大事。



でマスクを支給しないのか? 東京車掌区や京成は、支給されていると聞く。運輸区では中々対応してくれない。な

執行体制
執行委員長 池田好行
執行副委員長 岩井敬史
書記 長 浅野勝美

潮来駅無人化反対行動

2月24日、潮来駅の無人化反対行動を開催した。成田線・鹿島線地区担当の成田分会・成田保線分会・佐倉運輸区分会が中心になり計画、地本執行委員も参加し、チラシ500枚を配布した。

総括会議で安田副委員長は「委託化や無人化が進み歯止めがかからない。Suicaを入れて便利になるというが、人がいない弊害の方が大きくサービス低下となる」とあいさつ、参加者からは、遠距離通勤や1人勤務などの問題が出された。

潮来駅の無人化について、食堂の人は何も知らないと言ひ、潮来駅改札前にいた女子高生は良く知っていると言ひ、かなりの温度差を感じた。